

図書館 情報局

田沢湖図書館からお知らせ

春いっぱい 野菜も花も さあ、始めよう!

待ちきれない春の庭 雪解けを待って作業開始です。ガーデニング・春野菜。まずは土をいじってみませんか。



学習資料館からお知らせ

野菜料理の本特集

やっと雪が解けだしました。山や野原に春が到来し、いよいよ新しい年度の始まりです。身も心もリフレッシュして毎日元気に過ごしたいものです。そのためにまずは健康第一! みなさんは毎日の食事に気を付けていますか。今月は健康的な食事にとって欠かせない野菜を使った料理の本を特集しました。毎日元気はつらつ、野菜をもりもり食べましょう!



田沢湖図書館 ☎ 43-1307

4休 7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)、29日(火・祝)

学習資料館 ☎ 43-3333

4休 1日(火・振替休館)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)、30日(水・月末休館)
※29日(火・祝)は閉館します。

イベント交流館(新潮社記念文学館) ☎ 43-3333

4休 7日(月)、14日~18日(月~金・展示替え)、21日(月)

たざわことしょかん おはなし玉手箱

●日時/4月19日(土) 10:00~

●会場/田沢湖図書館2階(入場無料)

※新年度から「おはなし玉手箱」は図書館のほかに民家へ出張もします。

現在準備中です。「おはなし玉手箱 古民家版」乞ご期待!

人形たちが紹介する世界の秀作絵本展

●会期/4月22日(火)~5月11日(日)

子どもたちに人気の絵本の主人公たちが可愛い人形で登場します。羊毛フェルトのニードルパンチや折り紙、切り絵などなど。お楽しみに。



新潮社から寄贈された図書を紹介しす

「ほんもの-白洲次郎のことなど-」白洲正子/「鐘の渡り」古井由吉/「ザ・富士山-対決! 北斎vs.広重-」赤坂治績/「究極のお土産」観光庁(監修)/「昭和だョ! 全員集合」石原壮一郎、藤野美奈子(漫画)/「線路はつながった-三陸鉄道 復興の始発駅-」富手淳/「書庫を建てる-1万冊の本を収める狭小住宅プロジェクト-」松原隆一郎、堀部安嗣/「青森縄文王国」新潮社(編)/「内向的な人こそ強い人」ローリー・ヘルゴ、向井和美(訳)/「遁走状態」ブライアン・エヴンソン、柴田元幸(訳)/「長女たち」篠田節子/「いつまでも男と女-老いかたレッスン-」渡辺淳一/「よるのふくらみ」窪美澄/「吉祥寺の百日恋」坂本葵/「極悪 五右衛門伝」萩原研一/「酷-ハーシュー-」前川裕/「地震と独身」酒井順子/「決定版カーネギー 道は開ける-あらゆる悩みから自由になる方法-」D・カーネギー、東条健一(訳)/「ハレムの花嫁は密事に溺れる」青砥あか/「斎藤茂吉 異形の短歌」品田悦一/「レーガンとサッチャー-新自由主義のリーダーシップ-」ニコラス・ワブショット、久保恵美子(訳)/「山本周五郎長篇小説全集 第十一巻 ながい坂(上)」山本周五郎/「山本周五郎長篇小説全集 第十二巻 ながい坂(下)」山本周五郎/「約束の海」山崎豊子/「解縛-しんどうい親から自由になる-」小島慶子/「軌跡のはじまり-ある音楽家の革命的介護メソッド-」みつとみ俊郎/「小さなサプライズから始めよう-人を喜ばせる39のルール-」リー・コッカレル、森なおみ(訳)
【新潮選書】「戦犯の孫-日本人はいかに裁かれてきたか-」林英一/「ヒト、動物に会う-コバヤシ教授の動物行動学-」小林朋道/「日本人のための「集団的自衛権」入門」石破茂/「資格を取ると貧乏になります」佐藤留美

●新潮社文庫新刊も多数寄贈されています。
このほか、たくさんの新着図書が入ってきています。

日時 10月25日(土)

13:30~16:00

会場 仙北市民会館

入場は無料ですが整理券が必要です。整理券の配布方法は決まり次第広報等でお知らせします。



佐藤貞子

~秋田おばこ物語~



「アートdeまちあるき」を体験できます。

全参加型の賑やかな舞台とするため、みなさん来てけれな。企画委員長 石橋政文さん



佐藤貞子

「アートdeまちあるき」を体験できます。

仙北市の角館地区は秋田蘭画の「小田野直武」「佐竹曙山」近世の画家「平福穂庵、百穂父子」等、沢山の画人を輩出してあります。その流れを汲んだ若手アーティスト達が、みちのくの小京都といわれる古い町並みを背景に、様々なアート作品を展示いたします。



▲現代アートの展示

会期 10月17日(金)~11月3日(月・祝)
会場 仙北市角館町中心市街地

アートdeまちあるき
企画委員長 堺研太郎さん



▲昨年のイベントでは角館町下田太田家の蔵の中で角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーが演奏してくれました。

開催まで
あと6か月!

第29回 国民文化祭 あきた2014

10月4日(土)~11月3日(月・祝)

本番に向かって準備を進めている方々からのメッセージです!

- 民俗芸能の祭典
- 秋田の文学について知ろう
- 佐藤貞子~秋田おばこ物語~
- アートdeまちあるき
- 江戸に花開いた秋田の文化
- 田沢湖・角館短歌大会
- 大正琴の祭典
- 内陸線アート
- せんぼく「餅っこ三昧」
- おもてなし事業

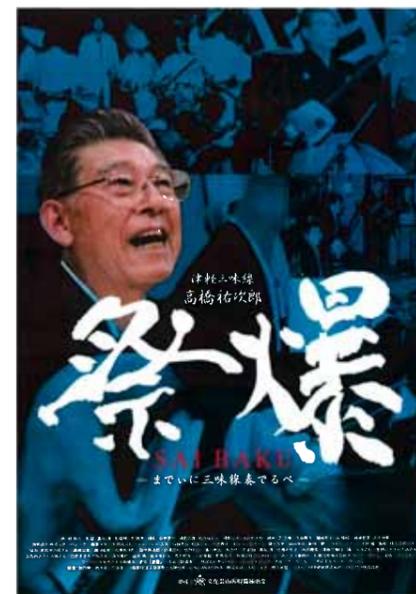
問合せ ☎ 43-3315

第29回 国民文化祭
仙北市実行委員会事務局
(仙北市教育委員会国民文化祭推進室内)
E-mail kokubunsai@city.semboku.akita.jp

かくのだてフィルムコミッション ロケーション だより

Kakunodate Film Commission

フィルムコミッションが行っている事業には、映画やテレビ番組の撮影支援やロケ地情報提供、雑誌や企業の宣伝広告素材等の取材支援以外もありません。めったにないケースですが、今回仙北市角館町出身で2012年9月に亡くなられた津軽三味線奏者高橋祐次郎さんの最晩年を撮影した映画「祭爆 S A I B A K U」までいかに三味線奏でるべの上映支援です。



せようと奮闘する姿に追ったドキュメンタリー映画です。芸の道にひたむきに向かう高橋さんの姿は必ずや感動を与えるものと思っています。かくのだてフィルムコミッションでは、地元上映会の後援やポスター掲示などの上映会宣伝に係る支援をすることとしています。

現在のところ上映会の日時は決定していませんが、多くの皆さんに地域から生まれた偉大な津軽三味線奏者高橋祐次郎さんの生き様を知っていただく機会になればと考えています。

上映会の日程が決まり次第、フィルムコミッションホームページ等で情報をお知らせします。皆さんお楽しみに。